

日本地球惑星科学連合 2011 年大会首都直下セッションについて

2010 年大会に引き続き、2011 年大会においても本プロジェクトに関連したセッションを開催します。平成 23 年 2 月 4 日に予稿投稿が締め切られ、現在はプログラム編成が行われています。発表スケジュール等については、3 月中旬に決定する見込みです。

以下に、セッションの概要と予稿投稿状況を示します。

セッション名：首都直下地震防災・減災特別プロジェクト

コンビーナ：酒井慎一（代表）、平田直、佐藤比呂志、佐竹健治、瀨瀬一起

スコープ：大被害をもたらす首都直下地震の全体像を解明し、その軽減と首都機能の維持に資することを目的とするプロジェクトが 5 年目（最終年度）になる。このプロジェクトでは、約 400 ヶ所の地震観測点を首都圏に構築して自然地震観測を行い、制御地震を用いた地殻構造探査や歴史地震等の記録の収集を通じて首都直下地震の詳細を明らかにすることで、首都直下地震の長期予測の精度向上や、高精度な強震動予測につなげる研究を行っている。さらに、長周期地震を含めた首都圏を襲う巨大地震に対して、耐震性能と機能維持性能を確保するための技術開発を行い、地震発生直後の震災把握と情報広域連携、被災者の生活支援から都市の復旧・復興策までを総合的にとらえる等、これらに関連した研究も募集する。

予稿投稿状況：21 件

以上